



令和6年5月13日

各位

会社名 大黒屋ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
 (コード番号:6993 東証スタンダード市場)
 問合せ先 財務経理部マネージャー 今長 岳志
 (TEL 03-6451-4300)

令和6年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

令和5年11月8日に公表しました令和6年3月期(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の通期連結予想値と本日公表の実績値とにおいて差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 令和6年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	包括利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,165	百万円 311	百万円 △86	百万円 △286	円 銭 △2.45	百万円 △258
今回実績値 (B)	10,967	△143	△446	△539	△4.60	△574
増減額 (B-A)	△1,198	△455	△359	△253	—	△316
増減率 (%)	△9.8	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (令和5年3月期)	12,447	124	△35	△279	△2.39	△255

2. 通期連結累計期間における差異発生主な理由

令和6年3月期の通期連結業績につきましては、当社根幹会社である株式会社大黒屋(以下「大黒屋」という。)において、中国経済の不動産不況等に伴う不振により主力の中国人訪日客数が予想より回復しなかったため、海外渡航者通期売上高4,585百万円の予想が3,875百万円という結果になりました。

また、国内顧客通期売上高2,717百万円の予想についても、店舗の買取が予想より下回ったため在庫量の増も果たすことができず、1,952百万円という結果となりました。

ネット売上高は予想1,264百万円から1,335百万円、本部商品売上高は予想2,257百万円から2,483百万円と改善いたしましたが、全体の売上高の減少を取り返すことができませんでした。

そのため、営業利益及び経常利益の各収益指標におきましても、売上高の業績が予想値に対して下振れしたことでそれぞれ業績予想値を下回る数値となりました。

以上